

文部科学省 支援プログラム

女性研究者支援 モデル育成とは、

女性研究者がもてる能力を最大限発揮できるようにするため、大学や公的研究機関を対象として、研究環境の整備や意識改革など、女性研究者が研究と出産・育児等を両立し、研究活動を行える仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援するものです。

都市エリア産学官連携 促進事業とは、

大学等の「知恵」を活用して新技術シーズを生み出すとともに、新規事業の創出、研究開発型の地域産業の育成等に展開するための産学官共同研究を実施する事業です。「一般型」では、地域の個性発揮を重視しており、「発展型」では、「一般型」等の終了地域のうち、特に優れた成果を上げ、今後の発展が見込まれる地域において、地域イノベーションシステムをさらに発展させることを目指しています。

パールの輝きで、 理系女性が三重を元気に

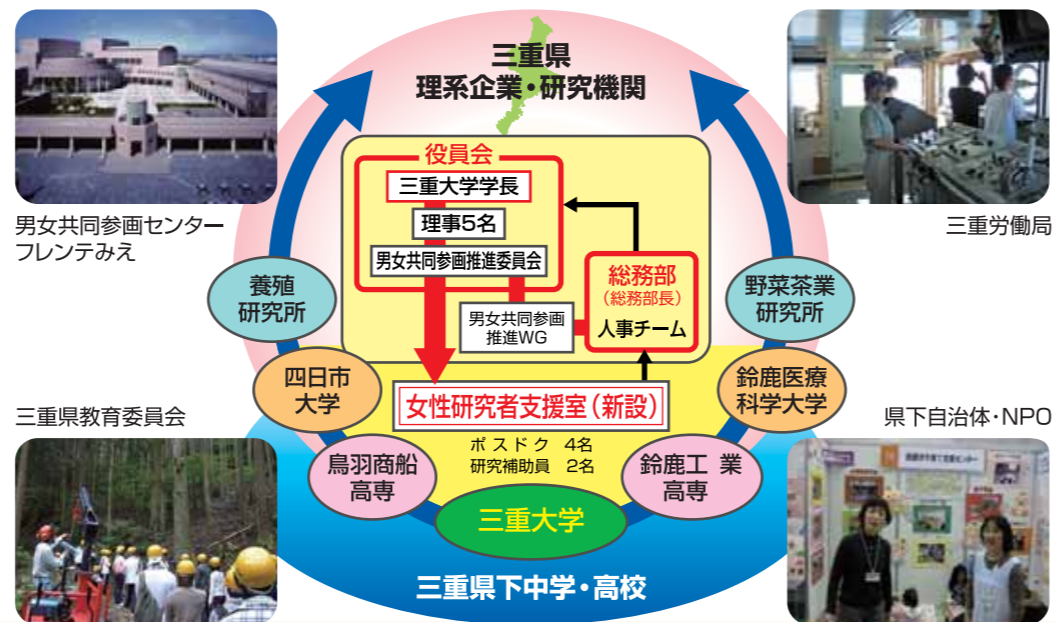
女性研究者支援モデル育成

平成
20年度

本学の医学系研究科、工学研究科、生物資源学研究科の女性研究をめざすとともに、三重県下の理系女性研究者を擁する6つの理系進学を希望する女子高校生を増加させ、女性研究者が活躍するものです。学内では、女性研究者支援室を立ち上げ、理系大携6機関との間にムードルによるシステムを構築し交流を行います。ター「フレンテみえ」との協同によって、女性研究者をエンカレッジ女性の活躍の場を広げ、県内全域に活気をもたらすことをめざし

研究者の増加と研究継続の支援機関との緊密な連携の下に、できる環境を整えていこうと学院修了者の進路開拓や、連また、県の男女共同参画センジする講演会を開催し、理系

◎ 実施体制 ◎



新世代全固体 ポリマーリチウム二次電池の 開発と高度部材イノベーション への展開

都市エリア産学官連携促進事業(発展型)

平成
20年度

平成16年~18年に標記事業の一般型として行った「次世代ディスプレイのための材料開発」研究から生まれた「燃えない安全な新世代の全固体ポリマーリチウム二次電池」の実用化を目指します。平成20年度~22年度までの3年間、フレキシブルで薄い、全く新しい電池の研究開発を進めていきます。20年度より発足予定の「三重大学次世代型電池開発センター」を研究開発のプラットフォームとし、さらに四日市の「高度部材イノベーションセンター」で、より実用に近い形のプロトタイプを製作するとともに三重県や企業と連携して、研究開発を行います。

◎ 研究開発計画 ◎ 事業化に向けた研究開発目標(高い安全性) ◎

